

本年もよろしくお願いたします

冬休みに入ると同時に大雪に見舞われ、久しぶりに雪深い年末年始となりました。学校の敷地内も雪に埋もれ、運動場は一面銀世界となりました。各ご家庭におかれましては、毎日除雪作業に追われて大変な日々をお過ごしであったかと思ひます。

さて、令和4年の新たな年を迎えました。保護者の皆さまは、今年のお正月をどのように過ごされましたでしょうか。

1月のことを睦月と呼びますが、語源として睦月(おすびつき)から転じたという説があります。仲良くすること、仲睦まじいこと、親しみ合うことを意味し、正月に家族や親族が集まり、親しみ合う宴を行う月であることが由来のようです。一家団らん、こたつを囲んで語り合うなど、家族の心のつながりを感じるひとときが、時代を超えても大切であろうかと思ひます。

新型コロナウイルス感染症については、昨年10月以降、感染者数の減少とともに落ち着きを見せていましたが、新たな変異株の広がりによりまだまだ先が見通せない状況です。これまで同様、十分な感染症対策を講じながらの学校生活がしばらく続きそうですが、ご家庭におかれましても日々の健康管理や健康観察など、ご協力をよろしくお願いたします。

『努力の壺(つぼ)』のお話

3学期は、1年間の「まとめ」の学期、次年度へ向けて大きく飛躍する学期でもあります。子どもたち一人ひとりが、具体的な目標を持って、その達成に向けてがんばってほしいと思ひます。

そこで、今日の始業式では、子どもたちに『努力の壺(つぼ)』というお話をしました。その要旨は、以下のようなものです。



『努力の壺(つぼ)』
 人はみんな『努力の壺』を持って生まれてきます。
 その壺は、いろいろな大きさがある、人によって、ときには大きいものや小さいものや、いろいろあり、その人の目には見えないものなのです。
 そして、人が何かを始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、その人が壺の中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまっていきます。

やがて、いつか、壺の中に入れていった「努力」がいっぱいになって、壺の口から「努力」があふれ出した時、がんばって努力してきたことができるようになる、というのです。
 また、その時になって、初めて自分の持っている壺の大きさがわかるのです。
 だから、こつこつと休まずに壺の中に「努力」を入れていけば、いつか、必ずできる時が来るというのです。
 みなさんも、自分の持っている『努力の壺』の中に、こつこつと「努力」を入れていって、上手になりたいことやできることを増やしていきましょう。

私が以前勤めていた学校でもこの話をしたことがありますが、努力しながらなかなか結果が出ない子どもには、「壺が大きいと大変だけど、その分中身がいっぱいあるから、あなたのためになると思うよ。」と励ましていました。



子どもたちには、「なわとびや一輪車、スキーが上手になりたい」、「漢字を覚えたり、九九がスラスラ唱えられるようになりたい」など、たくさんの願ひがあると思ひます。このお話のように、心の中に『努力の壺』をイメージして、がんばって「努力」を蓄積し、一つひとつの目標を達成してほしいと思ひます。



【3学期の主な行事予定】 ※都合により変更する場合があります。ご了承ください。

- 1月**
 11日(火) 給食開始
 19日(水) 学習参観日(2校時)
 20日(木) スキー教室(3年生~6年生) ※今年度は3年生~6年生で実施します。
 24日(月) 避難訓練(火災)
 31日(月) 本校体験入学・入学説明会



- 2月**
 4日(金) スキー教室(予備日)
 7日(月) 朽木中学校入学説明会
 10日(木) 学校開放日(学習発表会) 2校時
 PTA役員会(役職決定・新旧役員引継)



- 3月**
 4日(金) 6年生を送る会
 7日(月) 3年生立志祭
 17日(木) 給食終了(6年) 卒業式前日準備(PM)
 18日(金) 卒業証書授与式
 23日(水) 給食終了(1~5年)
 24日(木) 修了式 ※離任式は行いません

